

2023年3月期 第3四半期決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2023年01月25日 16:00~17:00

開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社 (Teams開催)

回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市・・・(3)、(4)

取締役 常務執行役員 CFO 岡崎 正明・・・(1)、(2)

<質問者1>

(1) 売上高の下方修正について、セグメント別の規模感とその背景を教えてください。

通期の売上高見通しを700億円から670億円に見直しさせていただいた。期初計画から通信で約10億円、エンタープライズで約20億円程度の減収見込みである。通信については、ベンダーマネジメント案件を高付加価値な領域へのシフト中で減収となった。エンタープライズでは障害対応に人員を配置したことやクラウド開発案件等の減少が影響した。

(2) 通信向けは第4四半期から来期においても減収が続くのか。

現在高付加価値な領域へシフトしている最中であり、今期業績へのインパクトのほうが大きい。

(3) 来期以降の成長ドライバーは何か。

クラウドとセキュリティで成長していく方針は変わっていない。特にマネージドセキュリティサービスなどの自社サービスは比較的利益率は高く、収益性の改善に貢献していく。また、次期自治体情報セキュリティクラウドの受注により405自治体という顧客基盤を獲得出来た。今後セキュリティの監視・運用やリモートデスクトップといったオプションサービスを、自治体の皆様が導入しやすいパッケージの形でご提案したいと考えている。

<質問者2>

(4) 営業利益54億円の通期見通しは据え置きとのことだが、達成の見通しを伺いたい。

(株)ノートンライフロックとの契約変更影響低減など期初想定に対しプラスに働く部分もあるが、加えてクラウド・セキュリティの伸長や収益性の改善についても引き続き取り組み、計画達成を目指していく。

以上